

# 病児保育27%知らず

# 愛媛新聞

発行所 松山市大手町1丁目12-1 郵便番号790-8511  
愛媛新聞社  
電話089(935)2111 受付案内台  
HP <http://www.ehime-ro.co.jp/>  
携帯 <http://www.ehime-ro.co.jp/>  
©愛媛新聞社 2010

## 県法人会 少子化対策で調査

### 手続きや金銭負担に不満

病児・病後児保育やファミリーサポートセンターの認知度は高くなく、利用するには手続きや金銭負担などに難あり―県法人会連合会が26日発表した「えひめ少子化対策のための企業訪問事業」の調査結果で、子育て環境に関する意識が明らかになった。

同事業は2009年10月～10年3月、1301社を訪問。従業員意識調査は小学6年までの子どもがいる1417人(男849人、女568人)が答えた。調査によると、病児・病後児保育は27%が知らず、ファミリーサポートセンターも39%が存在を知らなかった。ただ、知っていても「手続きが面倒」「受け入れ人数が少なくて

利用できなかった」「金額が高い」などの注文があった。子育てについては「楽しいことが多い」「70%と圧倒的多数で、「楽しい」ということが同じくらい25%、「つらい」ことが多い」は2%。子育てで良かったことや喜びを感じたことは「子どもの成長を見ること」が31%、「子どもとの交流」20%、「家庭が明

るくなる」18%など。一方、子育ての悩みや気になることは、教育が18%、「子どもとの時間が十分に取れない」15%、「病気や発育・発達」「育児の労力」がよく分からない、自信がない」がともに11%だった。

仕事、家事(育児)、プライベートの優先度について、希望は家事(育児)58%、プライベート24%、仕事17%の順だが、現実には仕事72%、家事(育児)24%、プライベート2%と、ギャップの大きさが浮き彫りになった。

「少子化対策の企業訪問」は緊急雇用創出事業の一環で、県が1606万円で連合会に委託。県は調査結果を少子化対策の施策に反映させる。(山根健一)

- きよしの紙面
- 小沢氏統投を首相支持 ②
  - 県内「春商戦」異常あり ③
  - 病児保育27%「知らず」 ⑥
  - 春の叙勲本県関係71人 ⑦
  - 英総選挙歴史的混戦へ ⑬
  - 八幡浜魚市場50億割れ ⑭
  - 四電4年ぶり減収減益 ⑮
  - 鹿島全勝ACL準決へ ⑲
  - 地方囲碁・将棋 ⑳
  - 小説「三人の二代目」 ㉑
  - スポーツ ㉒
  - ⑧⑨⑩⑪
  - ⑫⑬⑭⑮
  - ⑯⑰⑱
  - ⑳㉑
- ご意見・お問い合わせは  
読者窓口 ☎089(935)2366  
事件・事故など情報は ☎089(935)7777

### 困難な時代 親鸞は光

作家五木寛之さん講演 松山

愛媛新聞生活面に2008年9月から1年間、小説「親鸞」を執筆した五木寛之さんが28日、松山市堀之内の市民会館で講演。「末世は2012年1月16日に750回忌を迎える。11年4月から京都の西本願寺で行われる法要に先立ち、松山市内の同宗本願寺派の寺院16カ寺が合同で法要を開き、五木さんを招いた。雅楽やコーラスの音楽法要に続いて登壇し